Happy Birds News 小鳥さんのお役立ち情報満載！

vol.9

冬の野山には、夏より少ないですが多くの野鳥たちがいます。夏よりも木の葉がないので見通しがよく、見つけやすく、じっくりと観察できます。しかし、野鳥の種類を見分けるのは最初、容易ではありません。野鳥図鑑をよく見て、特徴を覚えるしかありません。

2月の末くらいになると、小鳥たちの囀り（繁殖期のなわばり宣言）が聞かれるようになります。鳥の鳴き声を聞き分けるのもまた訓練が必要です。聞き分けられるようになると、どのような鳥がいるかすぐわかるし、姿を見たとき種類を見分けやすくなります。

シジュウカラ

山林で四季を通してもっとも普通に見られる小鳥です。体長 14-15cm。背中の上部は緑黄色で背は青灰色なのが特徴的です。喉から尻にかけてネクタイのような帯があり、この帯の幅広いのがオスで狭いのがメスです。カラ類は混群をつくって樹林帯を移動することが多く、群に出会うといろいろな種類のカラを一度に見ることができます。

ヤマガラ

ヤマガラは他のカラ類よりカラフルで見つけやすく、人になれやすいので観察しやすい小鳥です。人の手の上の餌を取っていったりします。囀りは抑揚があって聞き分けやすい。体長約 14cm。雌雄同色。

KAWAI